

相模中学校だより

令和3年1月8日 発行：校長 金子憲勝

明けましておめでとうございます。今年も、よろしくお願ひいたします。

6日から3学期が始まり、生徒たちの顔を見ることができて「ホッ」としています。この冬休み中は、連日新型コロナウイルス感染症のニュースが流れていたため生徒たちの感染を心配していましたが、休み中に感染者がいなかったことを知り、安堵しました。ただ、昨日東京都や神奈川県などの1都3県に緊急事態宣言が発令され、今後も継続して感染症対策をしながらの学校生活になります。それに関連して、6日に座間市教育委員会からの通知を生徒たちに配付しましたが、その文書にあったとおり登校前の検温や健康チェック、それにマスクの着用など今まで同様に皆様の協力が必要ですので、よろしくお願ひいたします。この3学期も、生徒や教職員が健康に生活できるように配慮しながら、日々の教育活動を行っていきます。次に、私が3学期の始業式時に話をしたことを掲載します。

1. 冬休みの生活の確認について

- ① 家の手伝い ② 今年目標 ③ 夢中になったこと

2. 3学期の生活について

- ① 『積小為大』 二宮尊徳（別名：二宮金次郎）さんの言葉より

小さい事が積み重なって大きな事になる。だから、大きな事を成し遂げようと思うのなら、小さい事をおろそかにしてはいけない。コロナ禍なので、特に今できる一つ一つの事を丁寧に行い、粘り強さやたくましさを身に付けて欲しい。

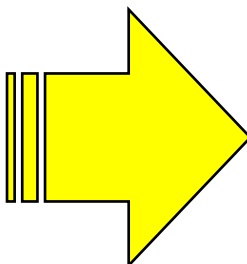
- ② 『プレッシャーを受け入れる』 荒木香織著「ラグビー日本代表を変えた心の鍛え方」より

何をしている時でも、皆が応援してくれる。期待してくれる。それを「重圧」と悲観的にとらえれば、身体が動かなくなるかもしれない。でも、「これだけの応援と声援を背負うことができるのだったら、これを楽しむしかない。これだけ準備してきたのだから、できるはずだ。」そう楽観的に思うことができれば、勇気が湧いてきます。「やっつやろう！」とモチベーションに変換することができます。

相模中生には、プレッシャーや緊張を悪いことと受け止めるのではなく、自分はプレッシャーや緊張を感じている。それならば、このプレッシャーや緊張を楽しもうと考え方を変えて、受検や試合に臨んで欲しい。

この部分は、個人情報保護の観点からホームページには掲載しません。
同様に下の写真は、顔がはっきり分からない物に変えてあります。

旧本部役員（三年生）
〜お疲れ様でした〜



新本部役員（一・二年生）
〜これから頼みます〜



3年3組 前生徒会長 清水 沙紋 さん

私は、この2年間生徒会本部として活動させていただき、様々なことを学び、経験させていただきました。今年は、例年通りに行かない行事がいくつもありました。そのため、臨機応変に対応することが求められ、例年と違う活動にとまどうことも多くありましたが、いつもサポートしてくださった先生方や共に活動してきた本部のメンバーに支えられ、乗り越えることができました。また、この経験を通して、私自身も成長することができたと思います。次期生徒会の皆さんには、ぜひ私たちの想いを受け継いでいただき、学校生活をさらに良いもの、充実したものに変えていってください。生徒会長という貴重な経験をさせていただき、本当に感謝しています。ありがとうございました。

2年5組 新生徒会長 柴 佑樹 さん

今期の生徒会では、スローガンとして『ともに』という言葉を設定しました。「一緒に行動する」「周りに気を配れる、貢献できる」という2つの意味を込めました。ぜひ、覚えていただければと思います。本部役員9人それぞれの理想の学校像が、公約につながっています。

昨年から今年にかけては、何かと制限が多く、思いどおりに行かないことも多々ありました。この先も思いどおりに行かないことがあるかと思っています。しかし、どんな環境下であったとしても学校を引っ張るリーダーとして、変わらずこの貴重な経験のできる機会に感謝しつつ、精一杯努力していきます。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。